

特別委員会報告

10月24日(金)

政治倫理条例に関する調査特別委員会

調査件名 ● 広野町議会政治倫理条例に関する調査について

特別議 会政治倫理条例

● 協議内容

先進町の条例内容を参考に、条例の枠組みと必要項目について様々な協議を行った結果、第1条(目的)・第2条(議員の責務)・第3条(町民の役割)・第4条(政治倫理基準)・第5条(請負契約等及び指定管理者に関する遵守事項)・第6条(審査の請求)・第7条(委員会の設置及び運営)・第8条(対象議員の義務)・第9条(委員会の審査結果)・第10条(対象議員及び議会の措置)・第11条(請求による説明会)・第12条(委任)・附則からなる政治倫理条例の骨格素案を決定しました。

● 今後の予定

政治倫理条例に係る「ハラスメントの防止に関する条例」や「政治倫理条例の委任規程」についても整備の必要性があると結論付け、今後の調査で協議していくことに決しました。



特別委員会の様子

総務文教・産業厚生常任委員会合同視察研修

12月23日(火)～12月24日(水)

視察先 岩手県葛巻町

研修内容 第三セクターによる地域振興について

● 株式会社岩手くずまきワイン

酪農に続く新たな地域活性化事業として「山ぶどう」に注目し、昭和61年に会社を設立、ワインの醸造に努めてきたこと、

「山ぶどう」はもとより「ぶどう全般」「りんご」「ブルーベリー」「さるなし」など、県内



ワインジュース工場

外から原料となる果実を調達、様々な味わいのワインを提供するとともに、各地の特産品開発にも寄与していることでした。

利益率が高い直売による販売の拡大、地元産原料の増量に向けた生産者の機運醸成を図っていることでした。

● 一般社団法人葛巻町畜産開発公社

北上山系開発事業で整備された公共牧場の管理運営、酪農家から仔牛を預かり育て返す預託事業など、酪農振興の中核地として昭和51年に会社を設立し、当初は町内酪農家の仔牛だけ預かっていましたが、現在は関東から約1300頭の仔牛を預かっていることでした。

畜産部門のほか、「牛乳」「ヨーグルト」「チーズ」などの乳製品製造・販売部門、「レストラン」「体験牧場」「新エネルギー導入」などの交流製造部門など様々な事業を展開し、経営基盤の強化を図っていることでした。

産業厚生常任委員会視察研修

10月20日(月)～10月22日(水)

視察先 神奈川県真鶴町・静岡県掛川市

研修内容 空き家対策について

神奈川県真鶴町

● 空き家の現状

平成30年で568件あり、その中で特定空き家の候補が150件位となっており、現在ではさらに増えているとのこと、令和10年の空き家対策計画の見直しの際、改めて調査をする考えとのことでした。

● 空き家バンク

運営は、町に住む奥様方達、子育てをしているお母様達で組織されている。未来塾に委託し取り組んできたことで、未だ来塾のメンバーは住民との付き合いの中で得られた空き家の情報や町の情報などをSNSなどで発信しているとのことでした。

● 空き家について相談があった場合は、内覧までは町の担当者が実施しますが、それ以降のことは不動産業者や未来塾に照会をかけた対応してもらっているとのことでした。

● 空き家対策等支援制度 真鶴町では、町が変化することを望まず、昔から連綿と引き継がれてきていることをそのまま後世に真鶴らしさを引き継いでいくことを重視しており、空き家を求める方が移住される方は真鶴町の良さを残そうとする美的基準を求めて来ている方が多いとのこと、あえて支援は実施していないとのことでした。



視察研修の様子(神奈川県真鶴町)

静岡県掛川市

● 空き家の現状

空き家率は17%で県内では10番目に多い状況となっており、今年度は(株)ゼンリンと委託契約し、住戸、住宅に限らず、事務所や店舗等全てを調査し、ランクを付けて、特に活用できる空き家に対しては、積極的に市からアプローチをしていくという目的を持っているとのことでした。

● 空き家バンク

一級建築士、司法書士、宅地建物取引士等の資格を持った専門家組織のNPO法人掛川ランドバンクと平成30年2月に空き家対策に関する協定を締結、空き家等適正管理マネジメント促進事業を委

託し、相談窓口、空き家バンク、危険な空き家の解体を所有者に働きかける事業を行ってもらい、ワンストップで対応できる組織体制としていることでした。

● 空き家対策等支援制度 今年度、空き家対策の目玉事業として空き家活用モデル事業を展開しており、市内の空き家を改修し、地域活性化に貢献する施設を設置運営する事業者を募集し、対象経費を補助するものであり、対象経費の3分の2(限度額1千万円)を補助する形で募集をして、4件採択してきたとのことでした。